

防府農地再生プロジェクト

ーだおらーずー

代表者 中森詩音（経済B 3年）
構成員 LEE DONGWOO（経済B 4年）磯部仁（経済B 3年）田野岡大季（経済B 3年）
富永愛実（経済B 3年）

1. プロジェクト概要

本プロジェクトは防府市内の遊休農地問題、小学生の地域イベント参加率が全国平均より低いという問題を解決するためのものである。防府市内にある遊休農地を借り、地域の小学生を対象とした耕作体験の機会を設ける。また、小学校の自由科目の一環として小学校とも連携することでイベントへの参加を促し、耕作に対する興味を育む機会とする。さらに、このプロジェクトに参加した児童が、次年度以降、次の参加児童に教える機会を設けることで、イベント継続することが可能となる。

2. プロジェクトの背景・目的

1月に防府市内の視察を行った際に、現在利用されていない農地である遊休農地の多さが印象に残った。また、防府市について調べる中で、小学生の地域行事に参加している割合が全国平均を下回っていた。私たちは以上の2つを防府市の課題として考え、遊休農地を活用した小学生対象の耕作体験イベントの開催を企画した。

本プロジェクトの目的は二つの地域課題を解決することである。一つ目は遊休農地の増加、農業継続の問題である。二つ目は全国平均より低かった小学生の地域イベント参加率である。遊休農地を農地に戻すのも重要であるが、今ある農地を守ることも大事である。また、地域の小学生が地域のイベントに参加することで、自分が住んでいる地域との絆を作ることにより、地域の若者流出も防げると考え、以上を本プロジェクトの目的とする。

3. 実施計画

- ①防府市内の遊休農地を借りる
- ②遊休農地の整備
- ③小学校と連携
- ④イベントの開催（植え付け・収穫）

4. 活動内容

まず、6月にイベントに使用する農地の視察を行った。また、視察と同時に防府市で造園業をされている方にご協力いただき、農地の一部を耕し、試験的にさつまいも・オクラ・ひまわりの植え付けを行った。しかし、雨が降ると土地に水が溜まり、その水が何日も抜けない状態となったため、この土地は農作物を育てるのには向いていないと判断し、新たな土地での作業に移行した。新たな農地は防府市立右田小学校近くの土地となったが、前回の土地と同様に整備されていない状態であったため、草刈りや土地の耕しからスタートした。また、右田小学校近くの土地を利用できるということもあり、右田小学校の児童がイベントに参加できないか計画を立て、小学校と話し合いをし、一緒にイベントを行えることとなった。



イベント開催土地

次に、9月20日に第1回目のイベントを実施した。事前準備として、雑草除去や防草シートの設置、今回イベントで育てるジャガイモの苗の準備を行った。ジャガイモの苗は気候の問題等もあり、イベントまでに届かないことがあったが、別のサイトや店で探し、確保することができた。今回のイベントでは、右田小学校の3年生109名が総合学習の時間として参加していただけることになり、ジャガイモ30kgの植え付けを行った。3クラス順番に作業を行い、植え方の説明をした後に実際に植える体験を行ってもらった。作業している小学生は、友達同士やサポートする大学生と楽しそうにコミュニケーションを取りながら作業していた様子であり、とても賑やかなイベントとなった。



植え付けイベントの様子

イベント後には、雑草が増加し続けていたため追加で防草シートを購入し、ジャガイモがきちんと育つように管理を行った。さらに、今回のプロジェクトを地域の方に広く知っていただくために看板の設置を行った。本プロジェクトでは、土地の耕しに協力くださった羽嶋松翠園の方や、看板設置に協力くださったひまわり工房の方など、防府市の企業がスポンサーとしてサポートしてくださっている。看板の設置後、より一層このプロジェクトを成功させるために次のイベントに対して計画を立てていった。



プロジェクト看板

定期的に苗や土地の管理を行ったことにより、12月6日に収穫イベントを開催することができた。

収穫イベントでは、植え付けのイベント同様、右田小学校の3年生109名を中心に先生方や、本プロジェクトのスポンサー企業のうち3社の方にも参加していただいた。イベントの前半には3社の方が企業説明として、防府市でどのような事業をしているのかなどを説明していただき、小学生と一緒に学ぶことができた。イベントの後半では育てたジャガイモの収穫を行った。今回は3クラス同時に収穫を行った。自分たちで育てたジャガイモを自分たちの手で収穫するイベントでは、ジャガイモの大きさや形をみんなで比べながら収穫したり、大学生とたくさん話したりして楽しいイベントとなった。



収穫イベントの様子



収穫したジャガイモ



集合写真

収穫したジャガイモは今回参加していただいた小学生やスポンサー企業の方に持ち帰っていただき、残りは防府市のスーパーで販売を行った。その際に、POPや説明などを小学生に作成してもらい、地域の方にプロジェクトの存在を知ってもらう機会となった。また、売上金については今回参加していただいた小学校へ寄付を行った。今回のプロジェクトを通して、自分たちで育て、収穫・販売することによって、農業の大まかな流れを体験でき、農業に対して興味を持つきっかけとなったと感じる。



スーパーでの販売1



スーパーでの販売2

5. 感想

今回のプロジェクトを計画し、実施したことによって、私たち自身も農業の大変さや喜びを体験できた非常に良い機会となった。農業に適していない土地であったり、気候による農業への弊害があったり、様々な課題があったが、その課題1つ1つについて話し合い、解決することによって、農業はもちろんプロジェクトを無事に終えることができた達成感を味わうことができた。そして、何より参加してくれた小学生が楽しみながら農業に触れている様子を実際に目にすることができ、プロジェクトの成功を実感できた。

ほとんどのメンバーが農業については何もわからない初心者であったため、手探りの状態で始めることに不安もあったが、防府市の方や企業の方などたくさんの方に協力していただくことによって、プロジェクトを進めることができたと感じている。今後もこのご恩を忘れず、地域のために行動していこうと感じた。